

## 多職種連携

## 看護福祉概論

《担当者名》看護分野 准教授/八木 こそえco-yagi0913@ 准教授/内ヶ島 伸也ucci@ 講師/高木 由希u\_uta@  
福祉分野 教授/橋本 菊次郎hashimoto-kiku@ 准教授/巻 康弘maki@ 助教/鈴木 真人

## 【概要】

看護や福祉の対象となる人々の理解と支援の実際、社会制度について学習することにより、人間の可能性とケアの多様性について考察する。

## 【学修目標】

看護の役割と専門性について理解する。  
高齢者医療、精神医療における主な健康課題と基本的な看護活動の概要について理解する。  
福祉の理念と福祉制度、少子高齢化・グローバル社会の動向と課題について理解する。  
高齢者福祉、障害者福祉、医療福祉の対象者の実態とニーズ、福祉サービスの仕組みと支援者等の制度と課題について理解する。  
健康で文化的な生活の質の向上と地域における自立を実現するために、福祉と医療の連携について理解する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義ガイダンス 看護の役割と専門性	講義の概要や構成について理解する。 看護の役割と専門性について理解する。	八木 こそえ
2	医療者のメンタルヘルス	・医療者のメンタルヘルスについて理解する。 ・自らのストレスと対処について考えることができる。	八木 こそえ
3	精神医療と看護	・精神医療を取り巻く現状と対象を理解し、精神看護における精神障害者へのアプローチを知る。 ・精神看護における精神健康へのアプローチを知る。	八木 こそえ
4	臓器移植医療と看護	・臓器移植医療の特殊性と、その現状や課題について理解する。 ・臓器移植における「4つの権利」を理解することで、対象者の生命と尊厳と権利を尊重する医療者の在り方、倫理観について考えることができる。	高木 由希
5	臓器移植医療と看護	・「臓器移植チーム」における連携の実際を通し、多職種連携の重要性について理解する。 ・臓器移植にまつわる様々な倫理的問題を知り、医療の進歩に伴い生じる様々な課題に対する自らの倫理的感受性を高める意義を考えることができる。	高木 由希
6	高齢者医療と看護	・加齢に伴う心身の変化と疾患をもつ高齢者の特徴について理解を深めた上で、高齢者の看護を理解する。 ・高齢者医療における歯科医師の役割と多職種連携・協働について考えることができる。	内ヶ島 伸也
7	認知症高齢者への看護	・認知症高齢者の理解を深め、日常生活における意思決定を大切にした看護について理解する。 ・認知症高齢者に対する歯科診療時の留意点と多職種連携・協働について考えることができる。	内ヶ島 伸也
8	福祉とは何か。	・社会保障の体系と社会福祉について学ぶ。 ・人口構造等からみる高齢社会の現状を理解する。	鈴木 真人
9	高齢者福祉の課題	・高齢者の生活ニーズを理解する。	鈴木 真人
10	高齢者福祉の課題	・介護保険制度の概要を学ぶ。	鈴木 真人
11	精神障害者福祉の課題	・日本をはじめ、諸外国における精神障害を持つ人たちの医療や社会的支援の歴史と現状を学ぶ。	橋本 菊次郎

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	精神障害者福祉の課題	・精神障害の治療・リハビリテーションについて優れた実践を紹介し、福祉のあるべき姿を学ぶ。	橋本 菊次郎
13	医療福祉の課題	・生老病死の各段階で医療を必要とするときの暮らしへの影響を考えることができる。 ・患者と家族の生活ニーズを理解する。	巻 康弘
14	医療福祉の課題	・住み慣れた地域での暮らしに対する住民のニーズと支援について考えることができる。 ・歯科医療とソーシャルワーカーとの連携・協働について考えることができる。	巻 康弘
15	まとめ	授業の総括、展望	橋本 菊次郎 巻 康弘 鈴木 真人

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

看護分野 50点（レポート）  
福祉分野 50点（レポート）

【教科書】

各講義で資料を配付する。

【参考書】

授業の中で提示する。

【備考】

Google formを活用し、講義時間内に学生自身の考えを深める問いかけを行う（4～5回）。

【学修の準備】

1回の授業にあたり平均4時間の予習復習を行う。  
各講義の終了時に、次回の講義の紹介と準備すべき事項について説明があるので、準備をして講義に臨む。  
事前に配付する「べてるの家」と当事者研究に関する資料を読んで参加する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。  
(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)  
DP2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。  
(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)  
DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。  
(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)  
DP4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。  
(多職種連携能力)  
DP5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。  
(社会における医療の役割の理解)

【実務経験】

看護師(精神看護専門看護師) 八木こずえ  
看護師 内ヶ島伸也  
看護師(レシピエントコーディネーター) 高木 由希  
精神保健福祉士: 橋本菊次郎  
社会福祉士: 巻 康弘

( 2026年度・歯学部 )

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療・福祉専門職人（看護師、社会福祉士、精神保健福祉士）としての実務経験から、歯科医療で生きる教育を実践している。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している